

事務事業名 肥育牛振興対策補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1015

施策：	12	農林業の振興	財務コード	01050105-03-363
基本事業：	01	農業の持続的経営への支援と担い手づくり	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	地域計画策定集落数（計画期間内累計） 新規就農者数（計画期間内累計） 認定農業者数		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～					新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
JA筑紫肥育牛部会			市内の肥育農家（3戸）で組織されたJA筑紫肥育牛部会の活動を支援するため補助金を交付する。  < 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告 補助金410,000円（定額）							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			肥育農家が高品質な牛肉を安定して生産できる環境が整っている。							
			< 活動内容 > 削蹄、枝肉共励会、研修 等  令和6年度では、年に3回開催される福岡県肉用牛生産者の会共励会で、グランドチャンピオン賞(1回)、金賞(2回)を受賞した。							

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
肥育した頭数（出荷頭数）	頭	252	254	280	260			337	
削蹄頭数	頭	476	478	570	480			560	

5. コスト									
事業費	計	千円	410	410	410	410			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	410	410	410	410				
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費	千円	782	802	838					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,192	1,212	1,248	410				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	< 状況 > 出荷頭数は微増している。また、博多和牛認知度向上のための活動を行っており、共励会等で受賞するなど成果がでている。								
どちらかといえばあがっている	< 原因 > 子牛導入から出荷までの期間は約20箇月を要し、年により出荷数が増減するケースがある。								
あがっていない（停滞・低下）	< 課題 > 生産経費の増大など、肥育農家の経営は厳しい状況下にある。上位等級の枝肉を生産するとともにトレーサビリティ確立が求められている。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
円安やウクライナ情勢による飼料価格上昇が大きく農業経営を圧迫しており、引き続き厳しい状況におかれることが予想されるため、部会員及び関係機関との一層の連携が必要である。インバウンドや感染症の影響により子牛導入が減ることが考えられ、出荷数が増える可能性がある。					令和6年度に福岡県（国内初）でランピースキン病の発生が確認され、感染すると出荷制限など経営への影響が懸念される。				